

# 令和4年度 キャリア教育全体計画

<b>キャリア教育の目的</b> 生涯を通じて自分が担っていく様々な役割とその価値について考えること、その経験をキャリアとしてとらえ、一人一人にふさわしいキャリアを形成し、自立していくために必要な能力や態度を育てる。	<b>学校の教育目標</b> 真理と正義と平和を愛好し、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな青少年を育成する。	<b>生徒の実態</b> ほぼ全員の生徒が進学希望である。学習・生活の両面で基礎・基本が十分に身につけておらず、自分に自信がもてない生徒が多い。また、表現力や理解力の不足から、コミュニケーション能力、他者との関わり方に課題がある。
<b>キャリア教育の内容</b> ○ 発達段階に応じたものの方や行動の仕方等、一人一人のキャリア発達を支援する。 ○ 学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲を向上させる。 ○ 将来の社会的・職業的自立の基礎となる資質・能力・態度を育てる。 ○ 望ましい勤労観・職業観を育てる。	<b>目指す生徒像</b> ○ 一人一人の能力を見つめ、個性を伸展させ、自立できる生徒 ○ 健康で調和のとれた身体を養い、最後までやり遂げる粘り強い体力と精神力をもった生徒 ○ 基本的な徳義・知識・技能を身に付けさせ、常に思考し、創造する力をもった生徒	<b>家庭・地域の実態</b> 地域が学校に寄せる関心、期待は大きく、学校の教育活動にも協力的である。ほぼ全員の保護者が高等学校へ進学させたいと考えているが、家庭学習の習慣だけでなく、基本的な生活習慣を身に付けさせることにおいて、家庭の役割が低下している。
<b>本年度の重点目標（学校努力点）</b> 自ら学び ともに考え 明日を生きる 一自他を尊重し、未来をたくましく生きる力を伸ばそうとする生徒の育成		

キャリア教育の全体目標			
社会の中での役割や生き方を展望し、自己実現を図るために必要な意欲・態度や能力を育てる。			
育成すべき基礎的・汎用的能力			
人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。	自分が「できること」「意義を感じる」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。

各学年の重点目標と主な課題		
第1学年	第2学年	第3学年
○ 自分のよさや個性を理解することができる。 ○ 自己と他者との違いに気付き、尊重しようとする。 ○ 集団の一員としての役割を理解し、それを果たそうとする。 ○ 将来に対して夢やあこがれを抱くことができる。	○ 自分の言動が他者に及ぼす影響について理解することができる。 ○ 社会の一員としての自覚が芽生え、社会や大人を客観的にとらえることができる。 ○ 体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いを理解することができる。 ○ よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して、自ら課題を見いだしていくことの大切さを理解することができる。	○ 自己と他者との個性を尊重し、人間関係を円滑に進めようとする力がある。 ○ 社会の一員としての参加には、義務と責任が伴うことを理解することができる。 ○ 係・委員会活動や職場体験等で得たことを、以後の学習や進路選択に生かすことができる。 ○ 将来の夢を達成するための課題を理解し、その克服のために努力をすることができる。
<b>【主な課題】</b> ○ 中学生活へ適応する。 （学習、教科担任制、部活動など） ○ 新しい人間関係を作る。 （自他の理解、集団での役割など） ○ 自分の将来を考える。 （職業の世界、卒業後の自分など）	<b>【主な課題】</b> ○ 中学校生活を充実させる。 （学習、行事、部活動、生徒会など） ○ 集団生活の質を向上させる。 （他者への配慮、社会の一員の自覚） ○ 将来を現実的に模索する。 （進路情報の収集、進路の計画など）	<b>【主な課題】</b> ○ 豊かな人間関係をつくる。 （自他の個性尊重、円滑な人間関係） ○ 社会の一員としての責任を理解する。 （社会での生き方、男女の協力） ○ 進路を選択・決定していく。 （進路の悩みの解決、進路選択・決定）

教科等における指導内容			
各教科	道徳	特別活動	総合的な学習
○ 将来の職業生活に必要な基礎的知識や技能 ○ 自己の能力・適正についての理解 ○ 計画的な学習の進め方 ○ コミュニケーション等の基盤となる記録・説明・論述・討論活動	○ 勤労の尊さや働く喜び ○ 奉仕の精神や地域社会の一員としての自覚 ○ よりよい生き方や価値観 ○ 自己の所属する集団の意義	○ 基本的な生活習慣の形成 ○ 調和のとれた心身の発達と個性の伸長 ○ 集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度 ○ 人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力	○ 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力 ○ 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的・創造的・協同的に取り組む態度 ○ 自己の生き方を考えること

キャリア教育推進のための基盤					
学級・学年経営の充実	基本的な生活習慣の確立	キャリア教育についての教職員の共通理解	P T Aおよび地域との連携	地域の人材、環境等を生かした題材開発	ブロックの小学校との協力・連携

## キャリア・パスポートについて

- 各学年で「キャリア・カード」を作成し、それをキャリア・パスポートとして次年度に引き継いでいく。
  - ・ キャリア・カードは5枚以内（両面印刷可）
  - ・ 学習カードなどをすでに取り組んでいる場合は、それを利用しても良い
  
- 転出や進学の際は、その時点までのキャリア・カードをまとめたものを、生徒に渡す。その該当生徒が転出先や進学先に提出する。
  
- キャリア・カードの形態は紙でもデータでもよい。
  
- 各学年のキャリア・カードの作成例（活用例）  
学年初め、学期を振り返ろう、学年末、職業講話のまとめ、合唱コンの感想 など・・・  
資料1            資料2            資料3